

平成31年度学校経営計画表

1 学校の現状

学校番号	2 1		学校名		県立水戸農業高等学校				課 程		全 日 制				校 長 名		羽 生 昭 男		
教 頭 名	前 田 浩 一				大 信 隆				鈴 木 猛				事務室長名		綿 引 卓				
教職員数	教諭	6 1	養護教諭	2	常勤講師	8	非常勤講師	8	実習教諭・実習手	2 5	事務職員	7	技術職員等	2 6	計	1 4 2			
生 徒 数	小 学 科		1 年		2 年		3 年		4 年		合 計		合 計 ク ラ ス 数						
			男	女	男	女	男	女	男	女									
	農 業 科		2 9	1 1	3 4	4	3 3	6			9 6	2 1	3						
	畜 産 科		1 3	2 7	1 6	1 9	2 0	1 5			4 9	6 1	3						
	園 芸 科		1 7	2 3	2 6	1 1	8	2 4			5 1	5 8	3						
	生 活 科 学 科		3	3 7	3	3 5	2	2 9			8	1 0 1	3						
	農 業 土 木 科		3 8	2	3 6	0	3 6	0			1 1 0	2	3						
	食 品 化 学 科		1 9	2 1	1 4	2 6	1 1	2 6			4 4	7 3	3						
	農 業 経 済 科		2 5	1 5	2 5	1 2	2 2	7			7 2	3 4	3						

2 目指す学校像

・知・徳・体を身に付けた社会に有為な人材を育成する学校 ・生徒一人一人の進路希望の実現を支援する学校 ・魅力ある農業教育を実践し、将来の農業経営者・関連産業技術者を育成する学校 ・体験学習・国際交流等を通して、コミュニケーション能力を磨くことができる学校 ・地域社会の関係機関・団体・住民等と連携するとともに、それらに開かれた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学習活動	・将来に対し明確な目標を持つ生徒と持たない生徒の学習意欲の差が著しい。	・個に応じたわかりやすい授業を心がけ、授業に積極的に参加する意識を育成する。
進路指導	・生徒の多様な進路希望に対応できる指導体制が確立されていない。	・各学年との連絡を密にし、1年次から体系的な進路指導体制の確立を図る。
	・望ましい職業観・勤労観が身に付いていない生徒が見られる。	・LHR等あらゆる機会を利用して、進路情報を適切に提供する。
	・農業教育の特性を生かした進路指導が十分に展開できていない。	・進路講話やインターンシップ等により職業体験活動の参加数を高め、望ましい勤労観・職業観の育成に努める。
生徒指導	・公共マナーへの遵守意識が不十分であり、校則を守れない生徒がみられる。	・保護者との連携を密にし、基本的生活習慣の育成を図るとともに、公共のルールやマナーを守ることの大切さを理解させる。
特別活動	・部活動の加入率が低い。	・生徒会活動や農業クラブ活動を活発にし、魅力ある学校行事を実施する。
	・いろいろな学校行事に対して生徒の参加意欲の低下がみられる。	・部活動紹介や見学会等を実施し部活動加入率を高める。
農業教育	・学ぶことや実習の意義を十分理解できず、農業への興味・関心の低い生徒がみられる。	・体験学習の充実と農業クラブの各種発表会、競技会への参加人数を増やし、活性化に努める。
	・農業クラブ活動、体験学習への参加意欲がやや乏しい。	・資格取得を奨励し、学習意欲の向上を図る。
		・就農講話等を通して職業観・勤労観を養う。

4 中期的目標

1	学習活動に意欲を持たせるために、特色ある本校施設を十分に活かした教育課程を編成するとともに、体験活動から基礎学力の短期大入試への進学のバックする体制を作り上げる。
2	四年生・推薦入試・一般入試の等多様な入試形態に対応できるようにきめ細かな進路指導を推進する。機会あるごとに大学説明会に参加するこめ、生命の尊重や規律ある生活、マナーの向上を含めた道徳教育を推進するとともに、心の教育の充実を図る積極的な参加を推進する。
3	ボランティア活動への積極的な参加を推進する。
4	生徒自身が主体的に計画・実践する諸活動を通して成就感や達成感が体験できるようにする。
5	農業各分野の実験・実習や実践的・体験的な学習及び農業クラブ活動などを通して、生徒の自主的な学習を推進する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
・基本的生活習慣の確立とコミュニケーション能力の育成	・基本的生活習慣や規範意識を身に付けさせ、けじめある行動や5分前行動を心がけることで、自主・自立の精神を育ませる。 ・豊かな人間性を育み、コミュニケーション能力の育成を図ることで、いじめ防止につながりような、より良い人間関係の構築に努める。
・基礎学力の向上と思考力・判断力・表現力の育成	・主体的に学習に取り組む習慣を身に付けさせ、基礎学力の定着を図る。 ・生徒の関心・意欲を引き出し、思考力・判断力・表現力の育成につながりような観点別学習状況を踏まえた学習評価を徹底させる。
・系統的な進路指導と指導体制の確立	・系統的な進路指導計画に基づき、学年段階ごとに応じた適正な進路指導を行う。 ・生徒の進路に沿った自己実現のための、適切な支援・指導を行う。 ・勤労観・職業観を育成するために、様々な体験活動に取り組ませる。
・特別活動及び部活動の活性化	・ボランティア活動，社会教育活動，環境美化活動等への積極的な参加を促す。 ・いきいきばらき国体2019（馬術競技大会）の会場校として、その成功に向けて協力する中で、生徒にも様々な形での参加の機会を持たせるようにする。 ・学校行事，ホームルーム活動，生徒会活動を充実させ，生徒に達成感を持たせる。 ・運動部・文化部等の加入率の向上を図り，部活動の活性化に努める。
・健康と安全教育の充実	・学校施設等の点検・充実に努め，安全な校内環境の整備を進める。安全教育の徹底，特に交通事故の絶無に努める。 ・防災，不審者対応などのマニュアルに基づいた危機管理を徹底し，訓練等による十分な備えを怠らないようにする。 ・生徒及び職員健康管理に努め，健康の保持増進を図る。
・農業専門教育の充実と地域連携	・一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業への取組を推進することで，魅力ある農業教育を実践し，農業後継者及び関連産業技術者の育成を図る。 ・プロジェクト学習や各種発表会・競技会等に積極的に取り組ませ，学校農業クラブ活動の充実を図る。 ・開かれた学校づくりを継続・発展させるとともに，地域と連携した体験学習（インターンシップ等）の充実を図る。